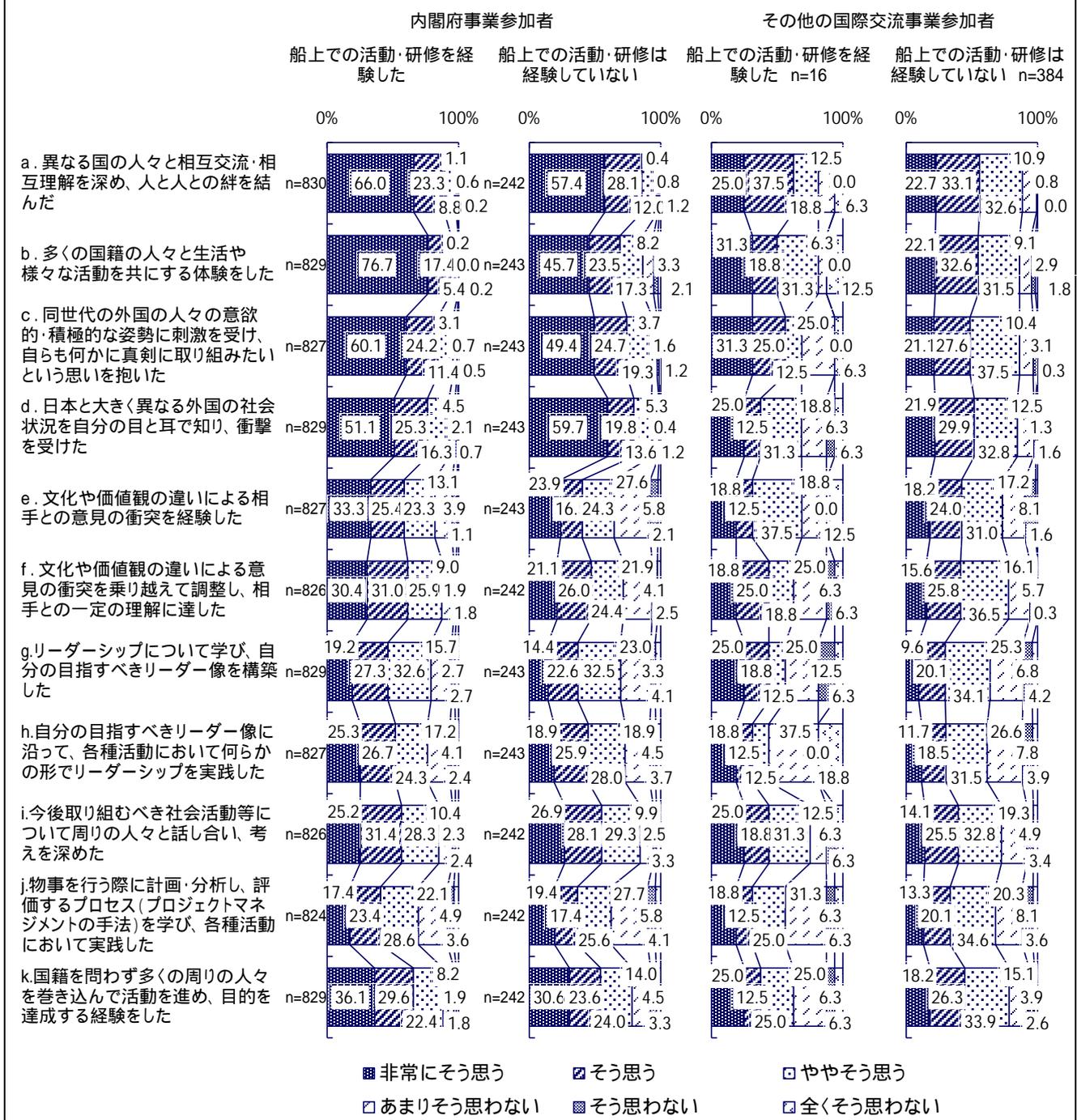


図表 4-11 事業参加期間中の経験 < 船上活動の有無別 >



船上活動の有無別の国際交流事業に参加している間の経験は、内閣府事業参加者で船上での活動・研修を経験した場合には『b. 多くの国籍の人々と生活や様々な活動を共にする体験をした』で「非常にそう思う」と「そう思う」を合わせると94.1%となっており、その割合は船上での活動・研修を経験していない人に比べると高い。その他の国際交流事業参加者では船上活動の有無にかかわらず『a. 異なる国の人々と相互交流・相互理解を深め、人と人との絆を結んだ』で「非常にそう思う」と「そう思う」を合わせるとそれぞれ62.5%、55.7%となっている。

< 検定結果 >

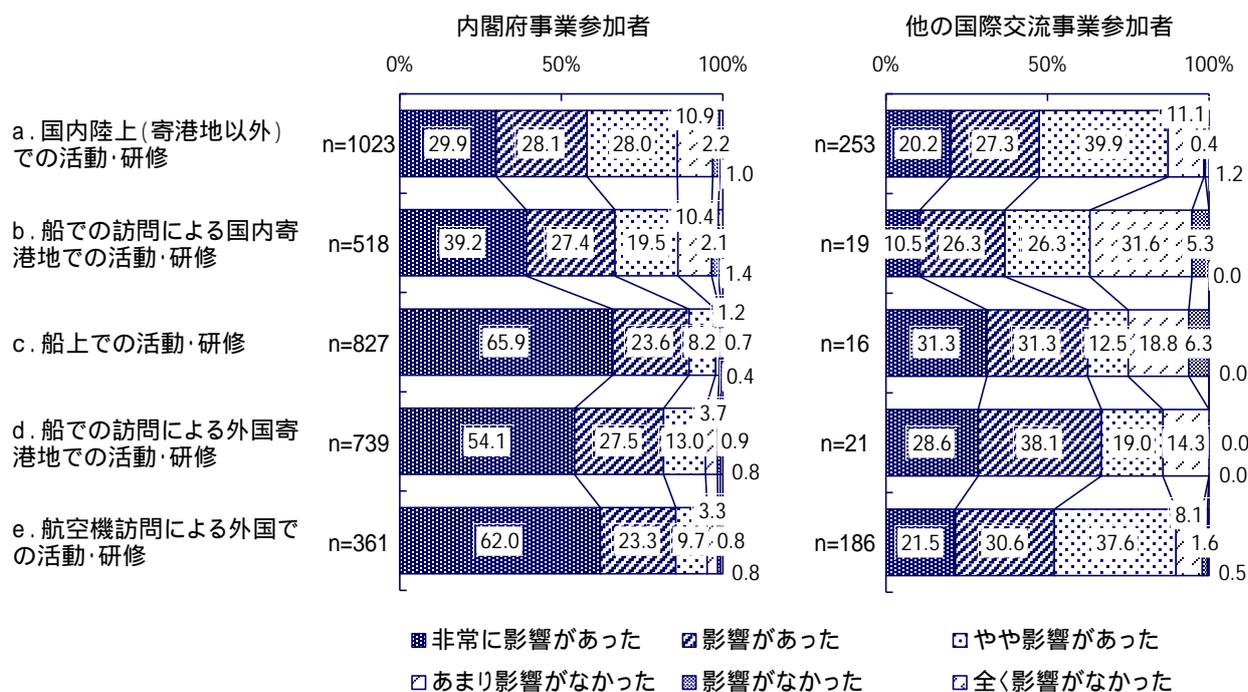
		内閣府事業 船上活動 経験あり なし
図表4-11	a . 異なる国の人々と相互交流・～	
	b . 多くの国籍の人々と生活や様～	p < 0.01
	c . 同世代の外国の人々の意欲的～	p < 0.01
	d . 日本と大きく異なる外国の社～	
	e . 文化や価値観の違いによる相～	p < 0.01
	f . 文化や価値観の違いによる意～	p < 0.01
	g. リーダーシップについて学～	p < 0.01
	h. 自分の目指すべきリーダー～	p < 0.05
	i. 今後取り組むべき社会活動～	
	j. 物事を行う際に計画・分析～	
	k. 国籍を問わず多くの周りの～	p < 0.01

「非常にそう思う」+「そう思う」、それ以外の2カテゴリーで計算。

(4) 活動・経験の種類別にみた人生やキャリアへの影響

問 11 あなたが参加した内閣府事業における下記 a から e に挙げる各活動・研修について、あなたの人生やキャリアへの影響という点で、「非常に影響があった」「影響があった」「やや影響があった」「あまり影響がなかった」「影響がなかった」「全く影響がなかった」のうち該当するものをそれぞれ1つお選びください。また、その活動・研修を経験していない方は「経験していない」をお選びください。

図表 4-12 活動・経験の種類別にみた人生やキャリアへの影響



内閣府事業参加者以外調査票では「あなたが参加した内閣府事業における下記 a から e に挙げる各活動・研修について、」が「あなたが参加した国際交流事業等における下記 a～e に挙げる各活動・研修について、」となっている。また、「経験していない」がなく、「また、その活動・研修を経験していない方は「経験していない」をお選びください。」の記載はない。

参加した国際交流事業等の各活動・研修の人生やキャリアへの影響について聞いたところ、『a. 国内陸上(寄港地以外)での活動・研修』で「非常に影響があった」は内閣府事業参加者が29.9%、他の国際交流事業参加者が20.2%、「影響があった」を合わせると各58.0%、47.4%となる。

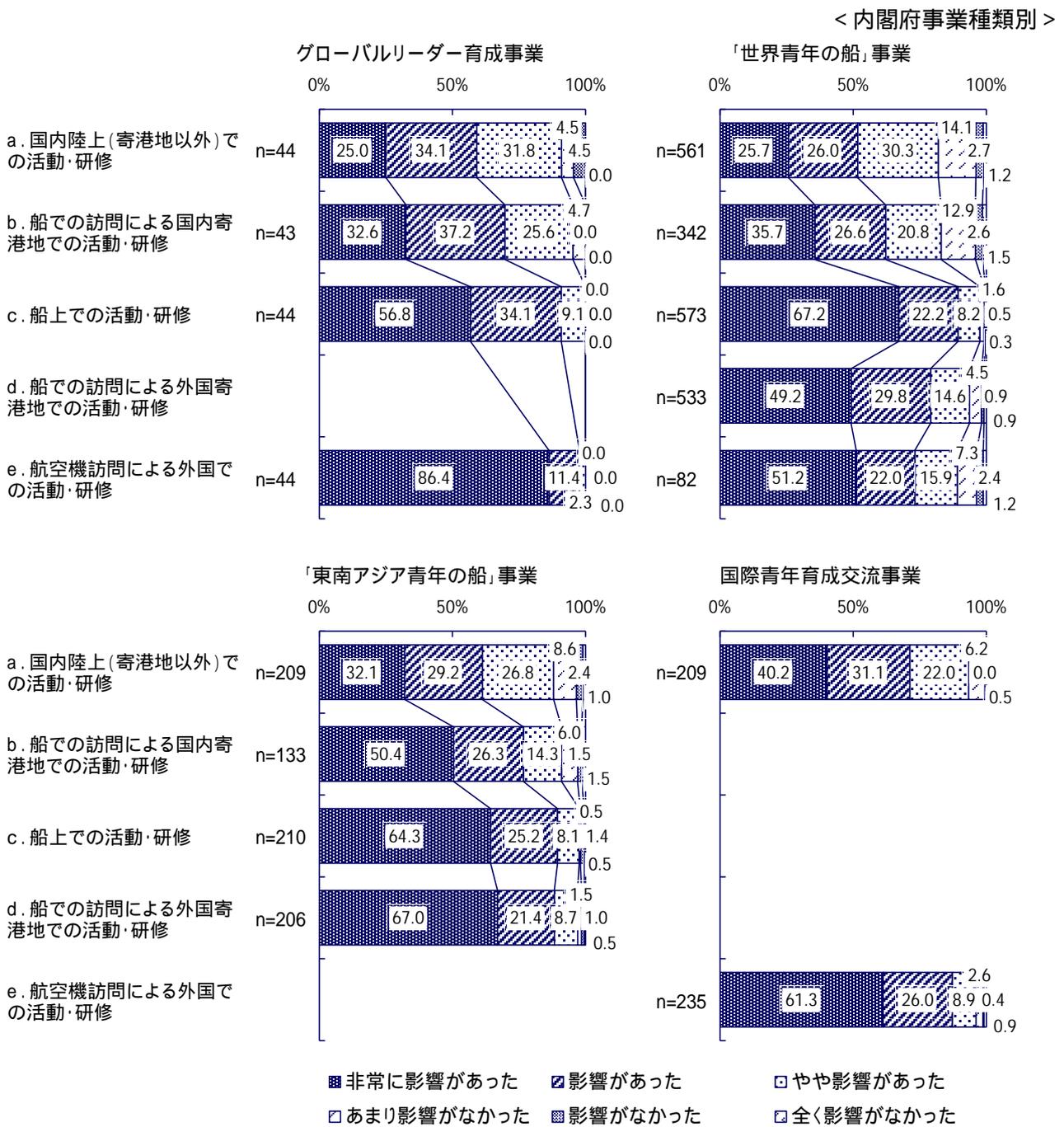
『b. 船での訪問による国内寄港地での活動・研修』で「非常に影響があった」は内閣府事業参加者が39.2%、他の国際交流事業参加者が10.5%、「影響があった」を合わせると各66.6%、36.8%となる。

『c. 船上での活動・研修』で「非常に影響があった」は内閣府事業参加者が65.9%、他の国際交流事業参加者が31.3%、「影響があった」を合わせると各89.5%、62.5%となる。

『d. 船での訪問による外国寄港地での活動・研修』で「非常に影響があった」は内閣府事業参加者が54.1%、他の国際交流事業参加者が28.6%、「影響があった」を合わせると各81.6%、66.7%となる。

『e. 航空機訪問による外国での活動・研修』で「非常に影響があった」は内閣府事業参加者が62.0%、他の国際交流事業参加者が21.5%、「影響があった」を合わせると各85.3%、52.2%となる。

【内閣府事業参加者】 図表 4-13 活動・経験の種類別にみた人生やキャリアへの影響



グローバルリーダー育成事業で「d. 船での訪問による外国寄港地での活動・研修」、東南アジア青年の船」事業で「e. 航空機訪問による外国での活動・研修」、国際青年育成交流事業で「b. 船での訪問による国内寄港地での活動・研修」「c. 船上での活動・研修」「d. 船での訪問による外国寄港地での活動・研修」の該当者はなし。

参加した国際交流事業等の各活動・研修の人生やキャリアへの影響を内閣府事業種類別にみると、「非常に影響があった」はグローバルリーダー育成事業で「e. 航空機訪問による外国での活動・研修」が86.4%、「世界青年の船」事業で「c. 船上での活動・研修」が67.2%、「東南アジア青年の船」事業で「d. 船での訪問による外国寄港地での活動・研修」が67.0%、国際青年育成交流事業で「e. 航空機訪問による外国での活動・研修」が61.3%などとなっている。